

## 鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：令和3年11月17日（水）

議 題：兵庫県姫路市の家きんにおける鳥インフルエンザ  
の疑似患畜の発生について

# 関係府省庁連絡会議(局長級)資料

**農林水産省**

令和3年11月17日

1	高病原性鳥インフルエンザの発生事例について	・・・	1
2	対応方針	・・・	2
3	防疫措置状況	・・・	3
4	輸出への影響	・・・	4
	【参考】 高病原性鳥インフルエンザとは	・・・	5
	【参考】 世界における鳥インフルエンザの発生状況	・・・	6

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について

## (1)国内1例目の概要 (H5N8亜型)

- ①場所・飼養規模 : 秋田県横手市の養鶏場(採卵鶏)、約14.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 0戸・0羽 、 3km-10km圏内 5戸・11.7万羽 、 合計 5戸・11.7万羽
- ③発生経緯 : 11月9日(火)、簡易検査陽性と判明。10日(水)2時00分に疑似患畜と確定。

## (2)国内2例目の概要 (H5N1亜型)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約3.9万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 23戸・91.1万羽 、 3km-10km圏内 97戸・462万羽 、 合計 120戸・553万羽
- ③発生経緯 : 11月12日(金)、簡易検査陽性と判明。13日(土)5時00分に疑似患畜と確定。

## (3)国内3例目の概要 (H5N8亜型)

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県出水市の養鶏場(採卵鶏)、約9,200羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 24戸・128万羽 、 3km-10km圏内 92戸・418万羽 、 合計 116戸・546万羽  
※ 国内2例目の農場から2.5kmの場所に位置していることから、当該農場の周辺農場と大半が重複している。
- ③発生経緯 : 11月14日(日)、国内2例目発生農場から半径3km以内の農場の検査により陽性と判明。  
15日(月)11時30分に疑似患畜と確定。

## (4)国内4例目の概要 (H5亜型)

- ①場所・飼養規模 : 兵庫県姫路市の養鶏場(採卵鶏)、約15.5万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 1戸・19羽 、 3km-10km圏内 25戸・78.7万羽 、 合計 26戸・78.8万羽
- ③発生経緯 : 11月16日(火)、簡易検査陽性と判明。17日(水)9時00分に疑似患畜と確定。

## 2 対応方針

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施する。

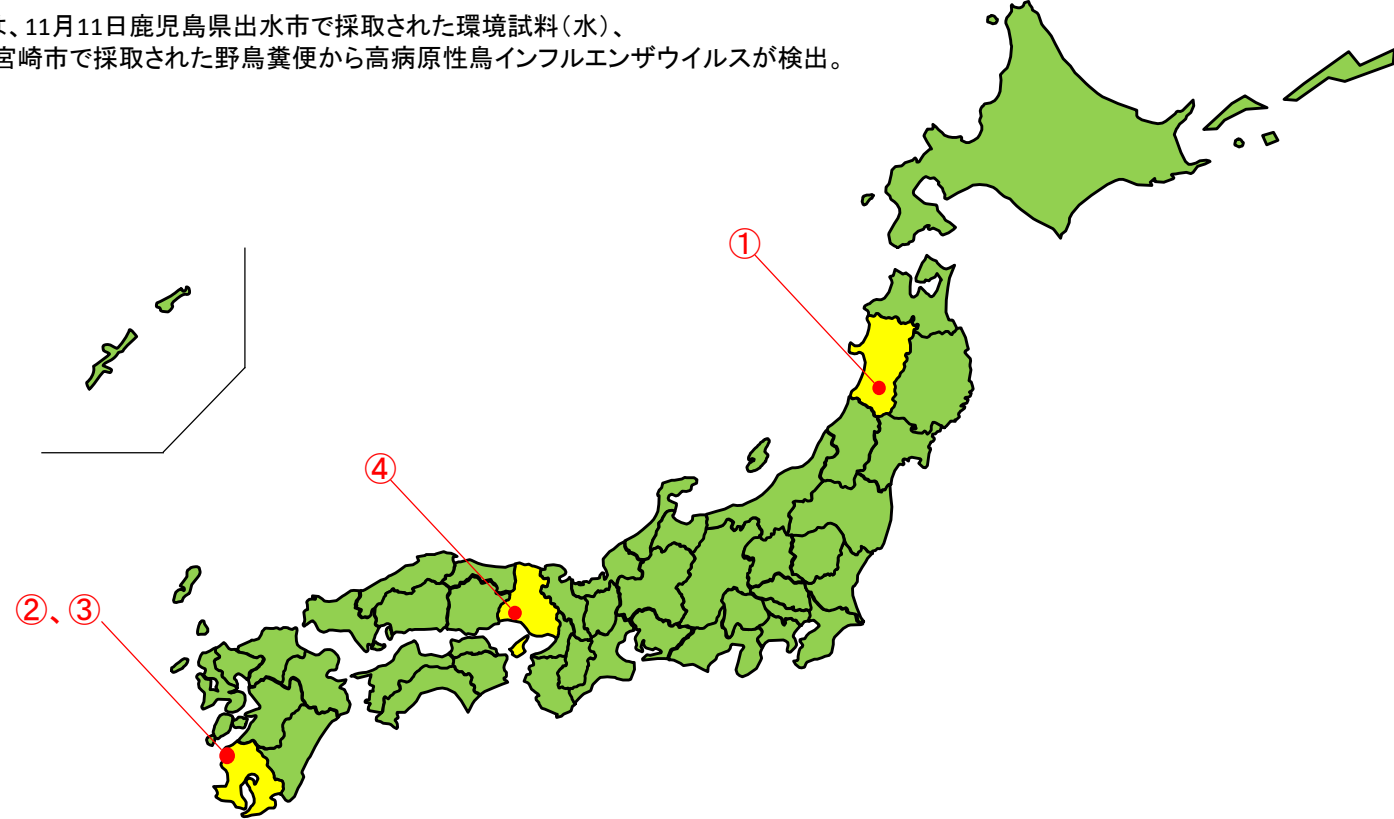
- ①当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、②農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、③半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
- 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
- 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
- 必要に応じて、副大臣又は政務官を発生県に派遣する等により、発生県と緊密な連携を図る。
- 必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。
- 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、農林水産省等の専門家を現地に派遣。
- 発生県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。
- 「疫学調査チーム」の派遣。
- 全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を指導。
- 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

# 3 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況

令和3年11月17日 9時00分現在

事例数: 4事例 (防疫措置対象: 4農場 約34.6万羽)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況 (予定は最短の場合)					
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3		措置完了日(0日目)		10日目		21日目	
					防疫措置 (殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
				開始	完了					
①	秋田	養鶏場 (秋田県横手市)	令和3年 11月10日	約14.3万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月9日	11月10日 2時00分	—	—	—	—
②	鹿児島 1	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和3年 11月13日	約3.9万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月12日	11月13日 5時00分	11月16日 0時00分	—	—	—
③	鹿児島 2	養鶏場 (鹿児島県出水市)	令和3年 11月15日	約9,200羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月15日 (持ち回り)	11月15日 11時30分	11月16日 20時00分	—	—	—
④	兵庫	養鶏場 (兵庫県姫路市)	令和3年 11月17日	約15.5万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月17日	11月17日 9時00分	—	—	—	—

※ 野鳥については、11月11日鹿児島県出水市で採取された環境試料(水)、  
11月16日宮崎県宮崎市で採取された野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出。



※1 疑似患畜と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 輸出への影響

## (1) 輸出一時停止の経緯

11月10日、秋田県における高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、同日から、日本全国の家きん肉及び卵の輸出を一時停止。

## (2) 輸出再開に向けた協議

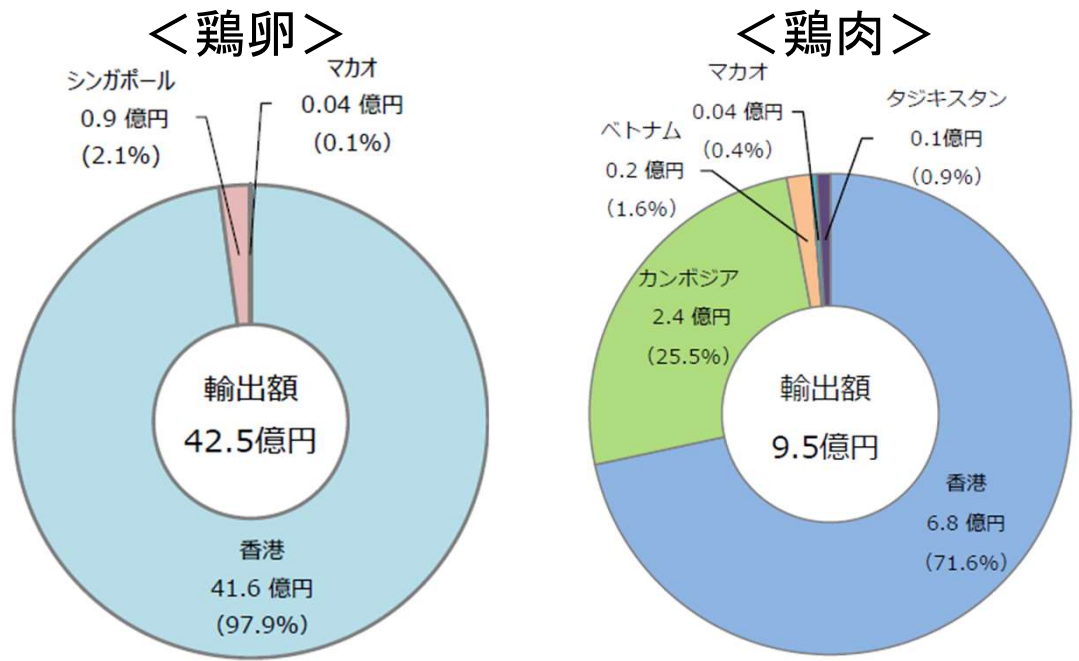
11月10日の発生を受け、輸出相手国当局に対し、地域主義(※)の適用等を活用した輸出再開を要請。

※地域主義とは、疾病発生国であっても未発生地域を特定し、そこからの輸入を可能とするOIEルールで認められている措置。

## (3) 輸出再開状況

- ①香港 : 11月10日付けで発生県以外からの輸出を再開(停止対象:秋田県11月10日、鹿児島県11月13日、兵庫県11月17日)
- ②シンガポール : 11月12日付けで発生県以外からの輸出を再開(停止対象:秋田県11月10日、鹿児島県11月13日、兵庫県11月17日)
- ③米国 : 11月17日付けで発生県以外からの輸出を再開(停止対象:秋田県11月10日、鹿児島県11月13日、兵庫県11月17日)
- ※カンボジア : 日本国内で流通している家きん肉・肉製品のカンボジアへの輸入が認められており、輸出を継続。

【参考: 鶏肉及び鶏卵の輸出実績(2021年1-9月)について】



# 【参考】 高病原性鳥インフルエンザとは

## (1)原因(病原体)

OIEが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルス



元気消失

## (2)対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

## (3)症状・特徴

元気消失、食餌や飲水量の減少、産卵率の低下、顔の腫れ、トサカや脚の変色(紫色)、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症:海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告。

## (4)発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29、令和2年度に発生。

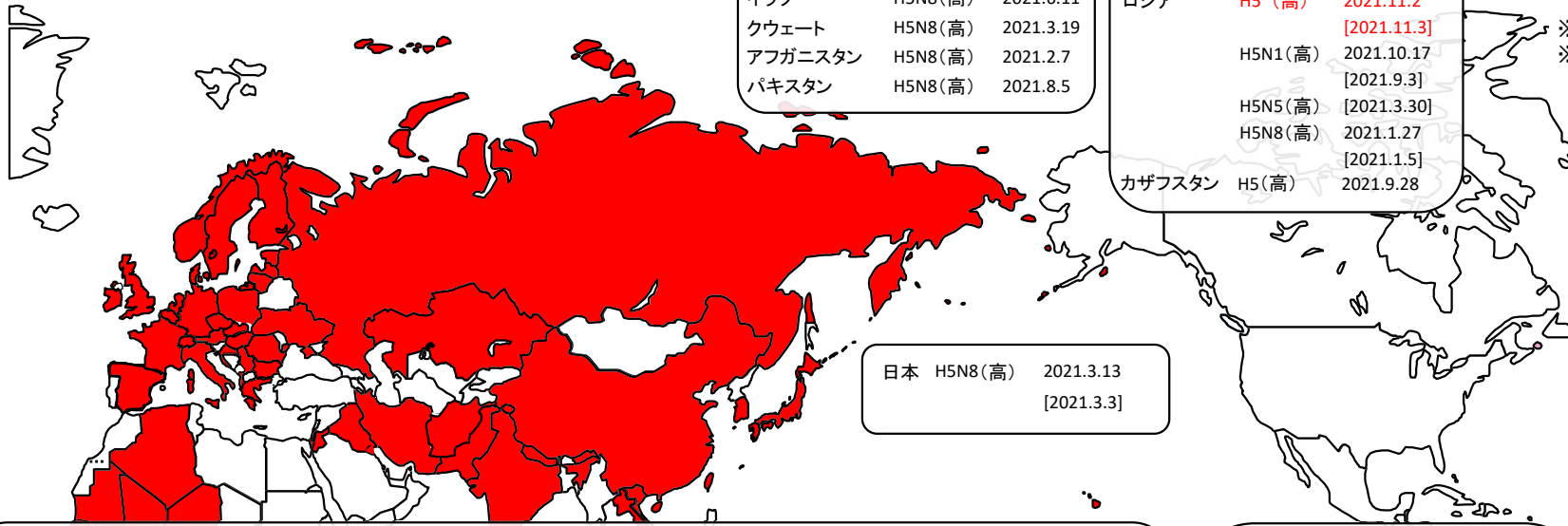
※内閣府食品安全委員会によると、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としている。



# 高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年以降)

高病原性発生地域 = ■  
 低病原性発生地域 = ■

※ ( )は病原性  
 ※ 高病原性・低病原性併発地域は高病原性に色分け



《中東》  
 イラク H5N8(高) 2021.6.11  
 クウェート H5N8(高) 2021.3.19  
 アフガニスタン H5N8(高) 2021.2.7  
 パキスタン H5N8(高) 2021.8.5

《ロシア・NIS諸国》  
 ロシア H5(高) 2021.11.2  
 [2021.11.3]  
 H5N1(高) 2021.10.17  
 [2021.9.3]  
 H5N5(高) [2021.3.30]  
 H5N8(高) 2021.1.27  
 [2021.1.5]  
 カザフスタン H5(高) 2021.9.28

日本 H5N8(高) 2021.3.13  
 [2021.3.3]

《アジア》  
 中国 H5N6(高) [2021.4.8]  
 H5N8(高) [2021.6.11]  
 韓国 H5(高) [2021.10.26]  
 H5N1(高) 2021.11.9  
 [2021.11.4]  
 H5N8(高) 2021.4.6  
 [2021.3.27]  
 H5N3(低) [2021.11.3]  
 H5N8(低) [2021.11.1]  
 H7N7(低) [2021.10.27]  
 H7N9(低) [2021.11.2]  
 台湾 H5N2(高) 2021.8.9  
 H5N5(高) 2021.9.26  
 [2021.1.11]  
 香港 H5N8(高) [2021.1.28]  
 インド H5N1(高) 2021.4.5  
 [2021.1.8]  
 H5N8(高) 2021.3.15  
 [2021.1.1]  
 イラン H5N8(高) 2021.6.9  
 イスラエル H5N1(高) 2021.10.31  
 H5N8(高) [2021.4.6]  
 ネパール H5N8(高) 2021.5.22  
 ベトナム H5N1(高) 2021.5.18  
 H5N6(高) 2021.8.26  
 H5N8(高) 2021.9.13  
 ラオス H5(高) 2021.8.29  
 カンボジア H5N1(高) 2021.1.5

《ヨーロッパ》  
 アイルランド H5N1(高) [2021.10.29]  
 H5N3(高) [2021.1.8]  
 H5N8(高) [2021.1.29]  
 アルバニア H5N8(高) 2021.6.10  
 イタリア H5N1(高) 2021.11.4  
 [2021.10.28]  
 H5N8(高) 2021.2.19  
 [2021.2.1]  
 ウクライナ H7N7(低) 2021.1.29  
 H5(高) 2021.10.11  
 [2021.4.2]  
 英国 H5N8(高) 2021.2.16  
 H5N1(高) 2021.11.2  
 [2021.10.29]  
 H5N3(高) [2021.1.14]  
 H5N8(高) 2021.3.21  
 [2021.4.7]  
 エストニア H5N1(高) [2021.10.12]  
 H5N8(高) 2021.10.21  
 [2021.9.27]  
 オーストリア H5N5(高) [2021.2.25]  
 H5N8(高) [2021.4.27]  
 オランダ H5N1(高) 2021.11.3  
 [2021.11.1]  
 H5N3(高) [2021.1.4]  
 H5N4(高) [2021.3.4]  
 H5N8(高) 2021.5.21  
 [2021.8.28]  
 ギリシャ H5N8(高) [2021.3.30]  
 クロアチア H5N8(高) [2021.3.14]  
 スイス H5N4(高) [2021.2.4]  
 H5N8(高) 2021.6.23  
 [2021.7.1]  
 スウェーデン H5(高) [2021.5.25]  
 H5N1(高) [2021.10.26]  
 H5N5(高) 2021.3.2  
 [2021.5.25]  
 スペイン H5N8(高) 2021.4.19  
 [2021.10.13]  
 スロバキア H5N8(高) 2021.1.26  
 H5N1(高) 2021.4.21  
 H5N5(高) 2021.1.22  
 H5N8(高) [2021.1.15]  
 セルビア H5N1(高) [2021.10.18]  
 H5N2(高) [2021.9.26]  
 H5N8(高) [2021.10.8]  
 チェコ H5(高) 2021.9.27  
 H5N1(高) [2021.11.1]  
 H5N5(高) [2021.2.24]  
 H5N8(高) 2021.5.17  
 [2021.4.19]  
 デンマーク H5(高) 2021.10.30  
 H5N1(高) 2021.11.2  
 [2021.10.27]  
 H5N3(高) [2021.4.29]  
 H5N5(高) [2021.3.19]  
 H5N8(高) 2021.7.4  
 [2021.5.5]  
 ドイツ H5N1(高) 2021.11.6  
 [2021.11.1]  
 H5N3(高) [2021.4.29]  
 H5N4(高) [2021.4.16]  
 H5N5(高) 2021.3.4  
 [2021.3.10]  
 H5N8(高) 2021.6.23  
 [2021.7.1]  
 ノルウェー H5N8(高) [2021.7.29]  
 ハンガリー H5N1(高) 2021.4.10  
 H5N5(高) [2021.2.23]  
 H5N8(高) 2021.2.1  
 [2021.3.2]  
 フィンランド H5N1(高) [2021.10.13]  
 H5N8(高) 2021.2.8  
 [2021.8.25]  
 フランス H5N1(高) 2021.3.17  
 H5N8(高) 2021.4.26  
 [2021.9.11]  
 H7N7(高) [2021.9.14]  
 H5N3(低) 2021.3.9  
 ブルガリア H5(高) 2021.5.4  
 H5(高) [2021.7.6]  
 ベルギー H5N5(高) 2021.1.26  
 H5N8(高) [2021.8.31]  
 ポーランド H5N1(高) 2021.11.5  
 [2021.4.20]  
 H5N5(高) [2021.1.31]  
 H5N8(高) 2021.8.9  
 [2021.6.17]  
 ラトビア H5N1(高) [2021.6.2]  
 H5N8(高) [2021.3.16]  
 リトアニア H5N8(高) 2021.5.28  
 [2021.6.2]  
 H7N7(高) 2021.3.26  
 ルクセンブルク H5N8(高) [2021.9.3]  
 ルーマニア H5N5(高) [2021.2.19]  
 H5N8(高) 2021.5.13  
 [2021.1.13]

《アフリカ》  
 南アフリカ共和国 H5(高) 2021.5.13  
 H5N1(高) 2021.10.28  
 [2021.10.11]  
 H5(低) 2021.7.14  
 [2021.7.5]  
 H5N2(低) 2021.3.25  
 H7(低) 2021.2.4  
 [2021.1.14]  
 セネガル H5N1(高) [2021.1.14]  
 ナイジェリア H5N1(高) 2021.6.26  
 モーリタニア H5N1(高) 2021.1.27  
 アルジェリア H5N8(高) 2021.1.17  
 [2021.2.22]  
 ニジェール H5N1(高) 2021.3.13  
 マリ H5N1(高) 2021.4.30  
 レソト H5(高) 2021.5.28  
 トーゴ H5N1(高) 2021.8.17  
 ガーナ H5(高) 2021.6.26  
 コートジボワール H5N1(高) 2021.7.15  
 ベナン H5(高) 2021.7.27  
 ボツワナ H5N1(高) 2021.7.24

※日付は発生日又は検体回収日に基づく  
 ※赤字は更新点  
 ※[ ]は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す  
 ※本図は発生の有無を示したもので、  
 その後の清浄性確認については記載していない  
 ※型別に最新の発生事例を記載

令和3年11月17日

家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ疑い事例に係る  
環境省の対応について

環境省自然環境局

兵庫県姫路市の農場における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例への環境省の対応は、以下のとおり。

- 発生農場周辺半径 10km を「野鳥監視重点区域」に指定し、兵庫県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 近畿地方環境事務所に、兵庫県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を行うよう指示。
- 兵庫県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的とした緊急調査を実施予定。
- 国内における家きんでの発生を受けた今シーズンの野鳥関係の対応状況は、表1のとおり。

(表1) 国内における家きんでの発生を受けた野鳥関係の対応状況

	確認日	場所	緊急調査	野鳥監視重点区域の設定日
1	11月10日	秋田県横手市	11月10日～11日	11月10日～
2	11月13日	鹿児島県出水市	11月12日～16日	11月13日～
3	11月15日	鹿児島県出水市	11月12日～16日	11月15日～
4	11月17日	兵庫県姫路市	調整中	11月17日～

### <野鳥等における取組>

- 冬鳥の渡来に合わせ、10月～翌年4月にかけて全国の渡来地で野鳥の糞便を採集するとともに、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、鳥インフルエンザウイルスの保有状況に関する調査を実施（野鳥サーベイランス）。
- 今シーズンは現時点で2例あり、鹿児島県※1及び宮崎県※2で高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が確認されている（表2）。
  - ※1 出水市と鹿児島大学が水鳥のねぐら等の水を採取し検査したもの。
  - ※2 宮崎大学の独自調査で野鳥糞便を採取し検査したもの。
- 国内の複数箇所で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されているため、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」として、野鳥の監視を強化中。
- 野鳥糞便、環境試料（水）及び家きんにおいて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された各地点の周辺半径10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。同区域内では緊急調査等を実施し、野鳥の監視を強化。
- 国内の野鳥における今シーズンの発生状況は、表2のとおり。

（表2）国内の野鳥における発生状況

	確認日	場所	緊急調査	野鳥監視重点区域の設定日	検体 (回収日)
1	11月11日	鹿児島県出水市	11月12日～16日	11月11日～	環境試料（水） (11/8)
2	11月16日	宮崎県宮崎市	11月19日（予定）	11月16日～	野鳥糞便（11/9）

# 兵庫県姫路市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣について

令和3年11月17日  
防 衛 省

※ 数値等は全て速報値のため、  
今後変更される可能性があります。

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 11月16日（火）、兵庫県姫路市に所在する養鶏場1カ所（約15.5万羽）において鳥インフルエンザ発生の疑いが発生し、検査の結果、17日（水）、鳥インフルエンザ陽性が確定。</li><li>○ 17日（水）0900、陸上自衛隊第3特科隊長（姫路駐屯地・兵庫県姫路市）は、兵庫県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。</li><li>○ 同日1032より、第3特科隊の対処部隊が殺処分等に係る支援を実施。</li></ul>
活動部隊	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 陸上自衛隊第3特科隊（姫路）</li></ul>
活動態勢	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 約350名態勢（ローテーションを組み24時間態勢により実施） ※後方支援要員を含む</li></ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分及び殺処分した鶏の梱包作業</li></ul>

## 位置関係図



## 【活動写真】

駐屯地出発の様子



殺処分支援

